



INNO  
VATION 30

# 2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社ミマキエンジニアリング（証券コード：6638）東証プライム市場

2026年2月13日

NEW

2026年3月期 連結業績

1. 第3四半期実績
2. 通期予想
3. APPENDIX



**UJF-7151 plusII e**

UJF-7151 plusII eは、従来機「UJF-7151 plusII」で評価された最高1800dpiの高画質プリントと産業用途に求められる高精度な位置決め・重厚メディア対応や安定性をそのままに、さらに“厚く盛る”“深く打つ”機能や生産性・ランニングコスト削減を追求したハイパフォーマンスマネルです。

売上高

**21,004**百万円

前年同期比 +2.8%

営業利益

**2,355**百万円

前年同期比 △13.6%

営業利益率 11.2%

経常利益

**2,238**百万円

前年同期比 △11.6%

経常利益率 10.7%

四半期純利益\*

**1,767**百万円

前年同期比 +4.3%

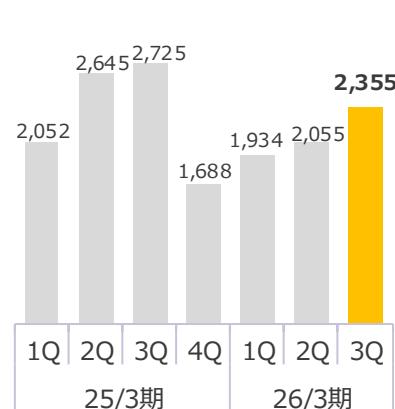
四半期純利益率 8.4%

\*親会社株主に帰属する四半期純利益

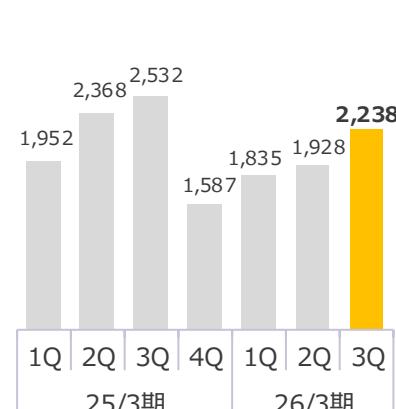
売上高



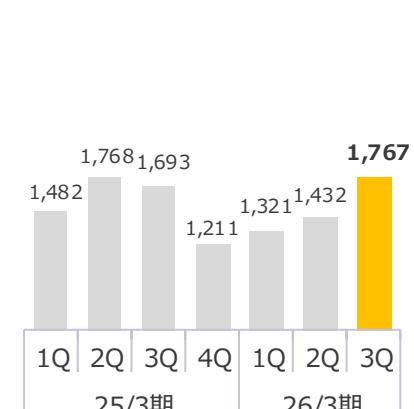
営業利益



経常利益



四半期純利益\*



(単位：百万円)	2025年3月期		2026年3月期(10-12月)			
	3Q実績	売上高 比率	3Q実績	売上高 比率	金額	前年同期比増減 率
売上高	20,431	—	<b>21,004</b>	—	+572	+2.8% -0.1%
営業利益	2,725	13.3%	<b>2,355</b>	11.2%	-369	-13.6% -25.4%
経常利益	2,532	12.4%	<b>2,238</b>	10.7%	-294	-11.6% —
四半期純利益*	1,693	8.3%	<b>1,767</b>	8.4%	+73	+4.3% —
為替レート (期中平均)	米ドル ユーロ	152.44円 162.59円	154.15円 179.39円	— —	+1.71円 +16.8円	+1.1% +10.3% —

\*親会社株主に帰属する四半期純利益

- 売上高は、前年同期比 572百万円の増収 (+2.8%、内為替影響 +599百万円)、予想比上振れ。為替影響を除きでは0.1%減  
製品市場別は、IPは本体の販売が生産性の高いモデルを中心に各ラインナップともに総じて底堅く推移、強い回復基調となり増収。SGは新製品等のエコソルベントモデルやUV-DTFが好調もエントリー機が軟調により減少。TAはDTFモデルの販売減少、FAは基板実装装置が増加
- 営業利益は、前年同期比 369百万円の減益 (-13.6%、内為替影響 +322百万円) も営業利益率は11.2%と高水準  
売上原価率は、原価低減活動により収益性の安定化を実現し改善基調を継続。販管費は、将来成長にかかる研究開発費や人件費は計画どおりに執行し、営業活動にも積極的に投資した一方で、支払手数料等は適正化に努めることで、計画比では抑制

売上高

**60,383百万円**

前年同期比 △1.6%

営業利益

**6,345百万円**

前年同期比 △14.5%

営業利益率 10.5%

経常利益

**6,002百万円**

前年同期比 △12.4%

経常利益率 9.9%

四半期純利益\*

**4,520百万円**

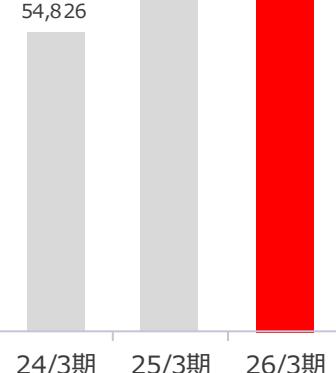
前年同期比 △8.6%

四半期純利益率 7.5%

\*親会社株主に帰属する四半期純利益

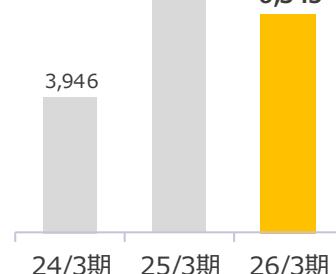
売上高

54,826  
61,374  
**60,383**



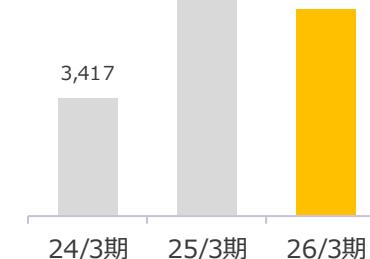
営業利益

3,946  
7,423  
**6,345**



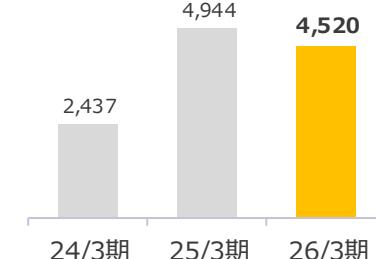
経常利益

3,417  
6,854  
**6,002**



四半期純利益\*

2,437  
4,944  
**4,520**



(単位:百万円)	2025年3月期		2026年3月期			
	3Q累計 実績	売上高 比率	3Q累計 実績	売上高 比率	前年同期比増減 金額	率 率(除為替)
売上高	61,374	—	60,383	—	-990	-1.6% -1.2%
営業利益	7,423	12.1%	6,345	10.5%	-1,077	-14.5% -13.9%
経常利益	6,854	11.2%	6,002	9.9%	-851	-12.4% —
四半期純利益*	4,944	8.1%	4,520	7.5%	-423	-8.6% —
為替レート (期中平均)	米ドル 152.56円	—	148.75円	—	-3.81円	-2.5% —
	ユーロ 164.82円	—	171.84円	—	+7.02円	+4.3% —

\*親会社株主に帰属する四半期純利益

- 売上高は、前年同期比 990百万円の減収 (-1.6%、内為替影響 -224百万円) 予想比並みの水準。為替影響を除くと1.2%減 製品市場別は、SGは新製品のエコソルベントモデル等好調も減少、IPはインクの販売は好調も本体の販売減少により減収。3Q (10月 -12月) では各ラインナップともに堅実に推移し回復基調。TAは、インクの販売が好調も本体販売が伸び悩み。FAは同事業内の濃淡 はあったものの全体では減収
- 営業利益は、前年同期比 1,077百万円の減益 (-14.5%、内為替影響 -43百万円) も営業利益率は10.5%。原価低減活動の 継続が収益性の安定化に寄与。販管費は、将来の成長のための研究開発費や人件費等の投資は計画どおりに執行した一方で、売上高 比率は、前年同期比では増加も支払手数料等のコストコントロールを徹底し、計画比の範囲内に抑制
- 3Q末バランスシート…重点指標CCC\*は、在庫増加の要因により2025年3月末より高止まり  
(2025.3末 : 4.28月 → 25.6末 : 4.96月 → 25.9末 : 4.85月 → 25.12末 : 4.51月)

\*CCC : Cash Conversion Cycle

# 営業利益増減要因 (25/3期 3Q累計 vs 26/3期 3Q累計)



INNOVATION 30

## ■ 売上・原価・営業利益への為替影響

$$\text{売上高} -224 - \text{売上原価} -89 - \text{販管費} -91 = \text{営業利益} -43$$

### 【通貨別影響額】

USD/	152.56円	→	148.75円	-221
EUR/	164.82円	→	171.84円	+364
CNY/	21.15円	→	20.78円	+25
TRY/	4.57円	→	3.67円	-120
THB/	4.34円	→	4.58円	+48
その他 ( INR, IDR 等)				-139
		合計		-43

(単位：百万円)

7,423

-365

-43

957

-1,626

6,345

営業利益  
25/3期

売上高  
増減影響

為替影響

売上原価率  
増減影響

販管費  
増減影響

営業利益  
26/3期

-10億77百万円

### 【売上原価率増減要因】

インク・本体機種のプロダクトミックスの改善等に伴い  
売上原価率は改善基調を継続

### 【販管費増減要因】

研究開発費	+1,039
人件費	+677
製品補修費	-298
その他	+209
合計	+1,626

2025年3月期

2026年3月期（10-12月）

(単位：百万円)	3Q実績	構成比率	3Q実績	前年同期比増減			構成比率
				金額	率	率(除為替)	
■ SG市場向け	8,717	42.7%	<b>8,349</b>	-368	-4.2%	-7.4%	39.8%
■ IP市場向け	5,397	26.4%	<b>5,690</b>	+293	+5.4%	+2.3%	27.1%
■ TA市場向け	2,506	12.3%	<b>2,354</b>	-151	-6.0%	-8.6%	11.2%
■ FA事業	940	4.6%	<b>1,053</b>	+112	+12.0%	+12.0%	5.0%
■ その他	2,869	14.0%	<b>3,555</b>	+686	+23.9%	-	16.9%
合計	20,431	100.0%	<b>21,004</b>	+572	+2.8%	-0.1%	100.0%

- SG市場向け : プリント本体は、新製品のエコソルベントモデルや25年春リリースのUV-DTFモデル、UVインク搭載モデルなど好調も、エントリーモデルが伸びず減少。インクは若干増加も全体では減収
- IP市場向け : プリント本体は、営業活動の転換で、ミドルサイズFBやUVインク搭載モデルの高精細で高速化された付加価値の高いモデルを始め、北米、欧州を中心に各ラインナップともに総じて堅実に推移し回復基調。インクも堅調により全体でも増収
- TA市場向け : プリント本体は、DTFモデルの販売減少の影響が大きく、インク販売の継続的な好調やTiger600の販売堅調、ハイブリッドモデルの順調な立ち上がりも補完しきれず減収
- FA事業 : 基板実装装置が自動車業界向けに回復傾向にあり前3Qとの比較では伸長。FA装置など受注の先送りがあるも増収

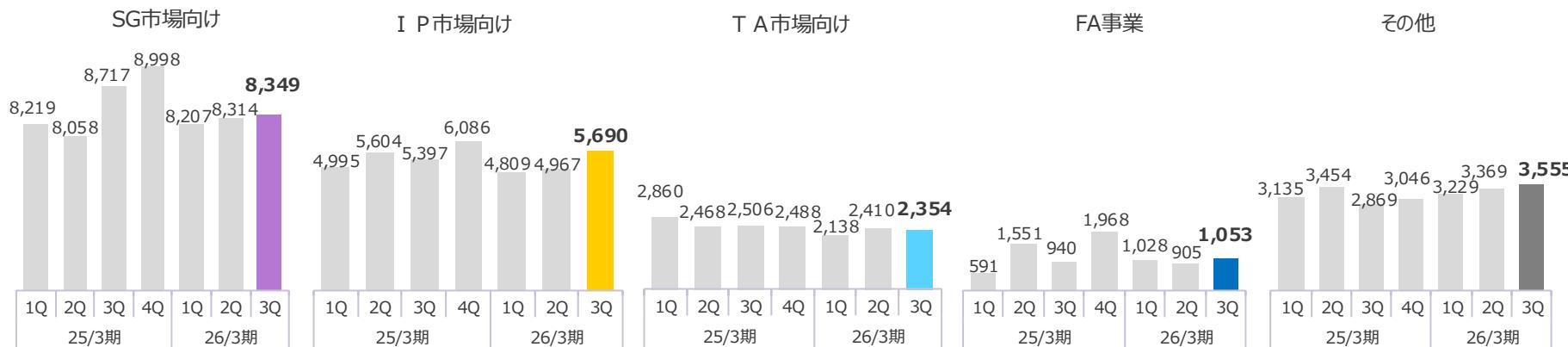
# 市場別売上高（2026年3月期 3Q累計実績）



2025年3月期

2026年3月期

(単位：百万円)	3Q累計 実績	構成 比率	3Q累計 実績	前年同期比増減		構成 比率	
				金額	率		
S G 市場向け	24,996	40.7%	24,870	-125	-0.5%	+0.0%	41.2%
I P 市場向け	15,997	26.1%	15,468	-529	-3.3%	-3.2%	25.6%
T A 市場向け	7,835	12.8%	6,903	-932	-11.9%	-11.2%	11.4%
F A 事業	3,084	5.0%	2,987	-97	-3.2%	-2.8%	4.9%
その他	9,460	15.4%	10,154	+694	+7.3%	-	16.8%
合 計	61,374	100.0%	60,383	-990	-1.6%	-1.2%	100.0%



(単位：百万円)	2025年3月期		2026年3月期(10-12月)		
	3Q実績	構成比率	3Q実績	前年同期比増減 金額	構成比率
■ 日本	5,218	25.5%	<b>5,691</b>	+472	+9.1% 27.1%
■ 北米	4,657	22.8%	<b>4,552</b>	-104	-2.3% 21.7%
	(現地通貨/ \$)	30.5M	<b>29.5M</b>	-1.0M	-3.3% —
■ 欧州	4,902	24.0%	<b>5,173</b>	+271	+5.5% 24.6%
	(現地通貨/€)	30.1M	<b>28.8M</b>	-1.2M	-4.3% —
■ アジア・オセアニア	3,622	17.7%	<b>3,446</b>	-175	-4.8% 16.4%
■ その他	2,031	10.0%	<b>2,140</b>	+108	+5.4% 10.2%
合 計	20,431	100.0%	<b>21,004</b>	+572	+2.8% 100.0%

- 日本： TAは昇華転写のフラッグシップモデルやDTFの生産性の高いモデルが堅調、本体・インクともに大幅に増加。SGはエコソルベントの生産性の高いモデルが好調もエントリモデルの伸び悩みにより減収。IPは既存製品の低調により本体は大幅減、インクは好調も全体は減収
- 北米： IPは小型、大型、ミドルサイズFBモデルと各ラインナップが好調となり本体は飛躍的に伸長。SGはUV搭載モデル等の減少により大幅な減収。TAはDTFモデルの販売の大幅な減収を受け減収。全体では若干の減収。
- 欧州： IPは各ラインナップの好調により本体販売、インクともに好調、SGはエコソルベントモデル、UV搭載モデルの好調に加えて為替の円安によるプラス影響もありIP、SGともに増収。TAはインクの販売は2桁増もDTFモデルの影響により全体では減収
- A・O： IP・SGはインクの販売は前年並みも既存製品の台数が伸びず減収。TAはDTFの影響を受け大幅な減収。全体も減収の結果

# エリア別売上高 (2026年3月期 3Q累計実績)

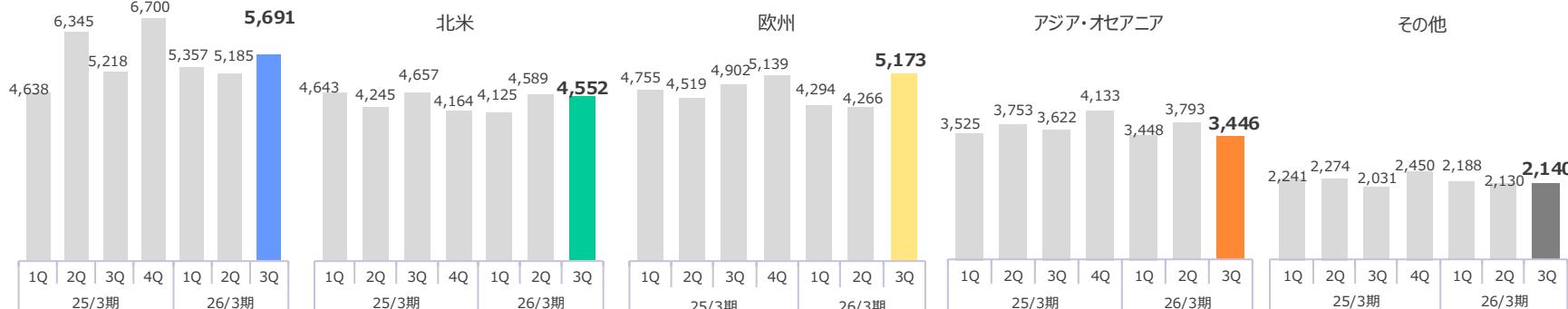


INNOVATION 30

2025年3月期

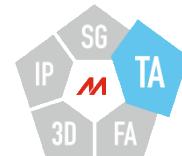
2026年3月期

(単位:百万円)	3Q累計 実績	構成 比率	3Q累計 実績		構成 比率
			前年同期比増減 金額	前年同期比増減 率	
日本	16,202	26.4%	16,234	+31	+0.2% 26.9%
北米	13,545	22.1%	13,267	-278	-2.1% 22.0%
(現地通貨/\$)	88.8M	—	89.1M	+0.3M	+0.4% —
欧州	14,177	23.1%	13,734	-443	-3.1% 22.7%
(現地通貨/€)	86.0M	—	79.7M	-6.2M	-7.3% —
アジア・オセアニア	10,901	17.7%	10,689	-212	-2.0% 17.7%
その他	6,547	10.7%	6,458	-88	-1.3% 10.7%
合計	61,374	100.0%	60,383	-990	-1.6% 100.0%



2026年3月期 連結業績

1. 第3四半期実績
2. 通期予想
3. APPENDIX



**TS200-1600**

「TS200-1600」は、初めて昇華転写プリンタを扱う方でも簡単に高品質なプリントが可能なテキスタイル・アパレル向け昇華転写インクジェットプリンタです。当社フラッグシッププリンタに搭載される「330エンジン」の高密度・高精細プリントヘッドをシングルで搭載しており、均一で美しい高濃度カラーや精細なデザインを表現できます。

(単位：百万円)	2025年3月期		通期 予想	売上高 比率	2026年3月期		前回 予想比 増減額
	通期 実績	売上高 比率			金額	率	
売上高	83,963	-	<b>82,500</b>	-	-1,463	-1.7%	-0.6%
営業利益	9,111	10.9%	<b>8,500</b>	10.3%	-611	-6.7%	-1.6%
経常利益	8,441	10.1%	<b>7,800</b>	9.5%	-641	-7.6%	-
当期純利益*	6,156	7.3%	<b>5,500</b>	6.7%	-656	-10.7%	-
為替レート (期中平均)	米ドル ユーロ	152.57円 163.74円	147.56円 166.88円	-	-5.01円 +3.14円	-3.3% +1.9%	+2.54円 +6.85円

\*親会社株主に帰属する当期純利益

## 連結業績予想の前提

- ・売上高…グローバルの市場環境に変化はなく、堅調であるとの見通しに変化はなし  
一方で、米国の関税政策や中国経済並びに各国の金融政策に伴うインフレなど不透明要素も継続。奏功した営業戦略の転換を4Qも踏襲し、販路の拡大に努める
- ・営業利益…研究開発費や人件費に加えて営業強化への将来成長のための積極投資は継続。支払手数料等のコストコントロールは状況を踏まえつつ効果的に充当し、売上原価率を意識したオペレーションを推進
- ・4Qの為替レートの前提：USD:144円/EUR:152円（前回予想から変更なし）

## ■売上・原価・営業利益への為替影響

売上高 -941 - 売上原価 -219 - 販管費 -252 = 営業利益-468

為替感応度 (1円/年)	売上高	営業利益
USD 161	84	
EUR 122	79	

【通貨別影響額】			
USD/	152.57円	→	147.56円
EUR/	163.74円	→	166.88円
CNY/	21.10円	→	20.83円
TRY/	4.48円	→	3.74円
INR/	1.81円	→	1.69円
その他 (BRL、IDR等)			-113
		合計	-468

### 【売上原価率増減要因】

インクと本体モデルの切り替え等によるミックスの変化など、引き続き原価低減活動に取り組むことで原価改善を見込む

(単位:百万円)

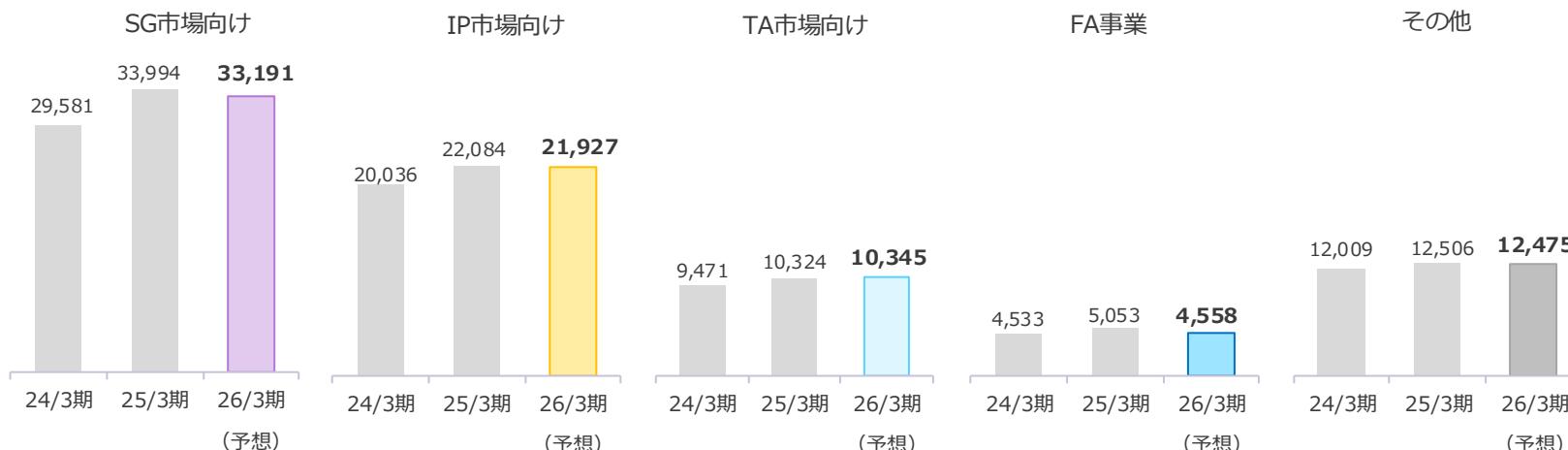


# 市場別売上高予想 (2026年3月期)



INNOVATION 30

2025年3月期			2026年3月期				
(単位:百万円)	通期実績	構成比率	通期予想	前期比増減		構成比率	前回予想比増減額
				金額	率		
■ S G 市場向け	33,994	40.5%	<b>33,191</b>	-802	-2.4%	+0.4%	40.2% ±0
■ I P 市場向け	22,084	26.3%	<b>21,927</b>	-156	-0.7%	-1.3%	26.6% ±0
■ T A 市場向け	10,324	12.3%	<b>10,345</b>	+21	+0.2%	+1.6%	12.6% ±0
■ F A 事業	5,053	6.0%	<b>4,558</b>	-495	-9.8%	-14.4%	5.5% ±0
■ その他	12,506	14.9%	<b>12,475</b>	-31	-0.2%	—	15.1% ±0
合 計	83,963	100.0%	<b>82,500</b>	-1,463	-1.7%	-0.6%	100.0% ±0



# エリア別売上高予想 (2026年3月期)



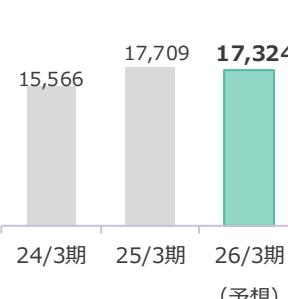
INNOVATION 30

(単位:百万円)	2025年3月期		2026年3月期		構成比率	前回予想比増額
	通期実績	構成比率	通期予想	前期比増減率		
■ 日本	22,903	27.3%	<b>22,286</b>	-616	27.0%	±0
■ 北米	17,709	21.1%	<b>17,324</b>	-385	21.0%	±0
(現地通貨/ \$)	116.3M	—	<b>117.3M</b>	+0.9M	+0.9%	-2.0M
■ 欧州	19,317	23.0%	<b>18,156</b>	-1,160	22.0%	±0
(現地通貨/€)	118.0M	—	<b>108.8M</b>	-9.2M	-7.8%	-5.1M
■ アジア・オセアニア	15,035	17.9%	<b>15,060</b>	+25	+0.2%	18.3%
■ その他	8,997	10.7%	<b>9,671</b>	+673	+7.5%	11.7%
合 計	83,963	100.0%	<b>82,500</b>	-1,463	-1.7%	100.0%
						±0

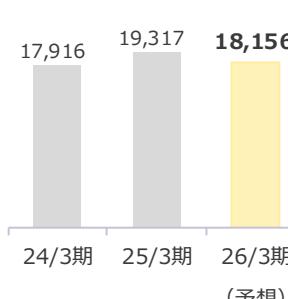
日本



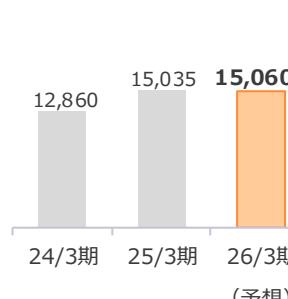
北米



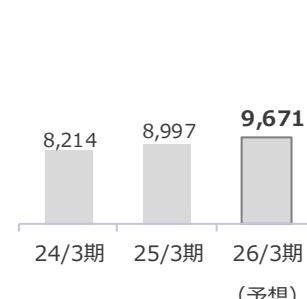
欧州



アジア・オセアニア



その他

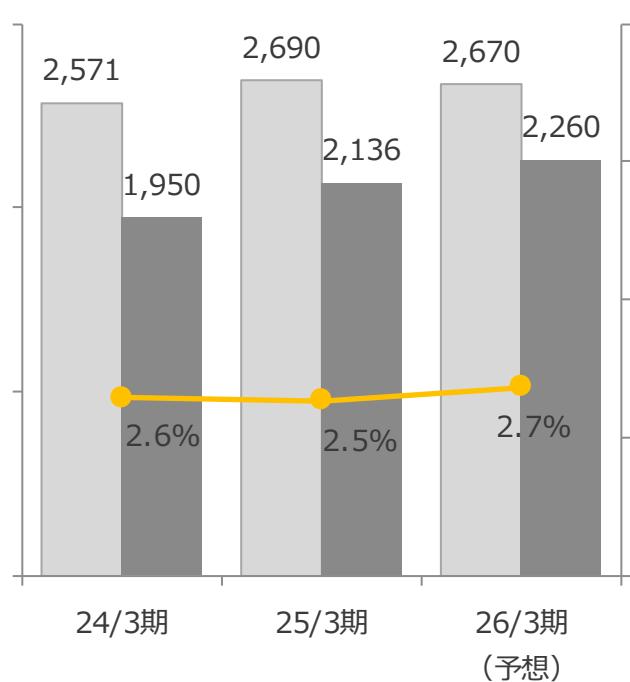


# 設備投資、減価償却、開発投資予想（2026年3月期）

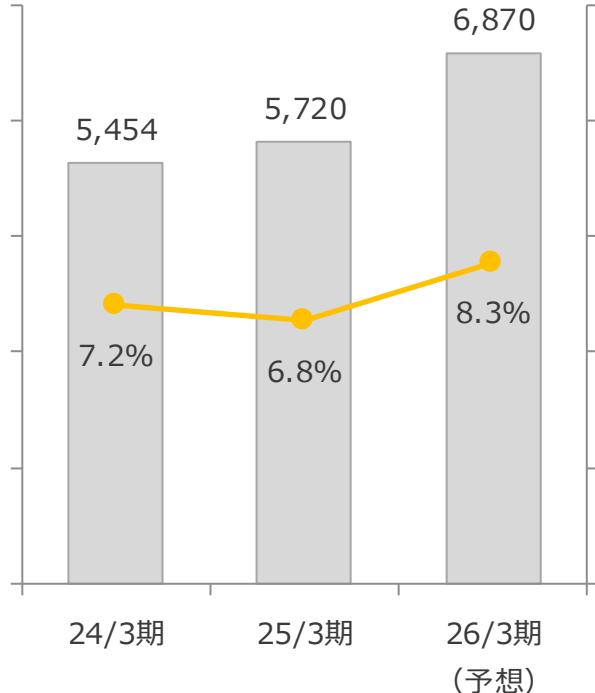


（単位：百万円）

■設備投資 ■減価償却費 ●減価償却費対売上比率



■開発投資 ●対売上比率



販管費における「研究開発費」  
25/3期 3,711百万円  
26/3期 4,762百万円（予想）

※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

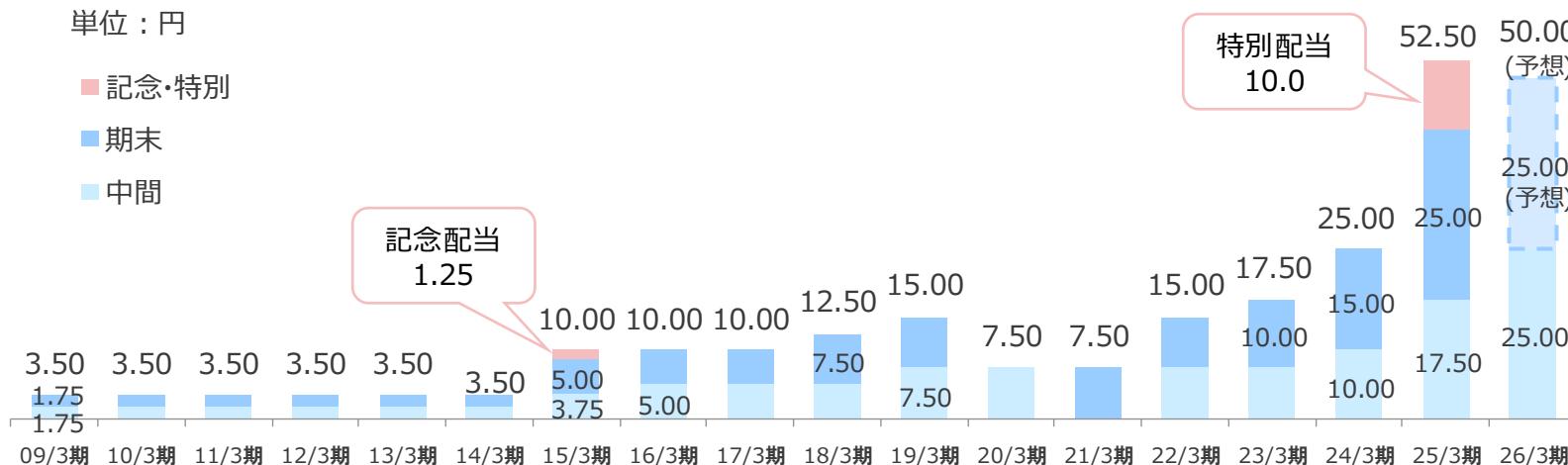
## 株主還元の方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

- 2026年3月期 中間：25.0円、期末(予想)：25.0円  
今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、年50.0円の予想

単位：円

- 記念・特別
- 期末
- 中間



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものです

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しています（分割前の配当金は遡及修正して表示）

## 2026年3月期 連結業績

1. 第3四半期実績
2. 通期予想
3. APPENDIX



### UVJ300DTF-75

「UVJ300DTF-75」で採用のUV-DTFとは、専用のフィルムにプリントしたデザインを対象の素材に転写する加飾方式です。従来のUVプリントでは難しかった、凹凸や曲面のある素材の表面にも、簡単に加飾ができる製品です。

## 経営ビジョン

**1**

独自技術を保有し、  
自社ブランド製品を  
世界に供給する  
**「開発型企業」**を  
目指します。

**2**

顧客に  
満足いただける製品を  
素早く提供する  
小回りの利いた  
会社を目指します。

**3**

市場に常に  
**「新しさと違い」**を  
提供する  
イノベーターを  
目指します。

**4**

各人が持っている  
個性・能力を  
力一杯発揮できる  
企業風土を  
目指します。



商 号	株式会社ミマキエンジニアリング		
設 立	1975年8月	資 本 金	4,357百万円
本 社	長野県東御市滋野乙2182-3		
代 表 者	代表取締役社長 CEO 池田 和明		
株 主 数	4,967名 ※2025年9月末現在		
上 場 市 場	東京証券取引所 プライム市場 / 証券コード 6638		
発行済株式総数	32,040,000株 (単元株=100株) ※2025年9月末現在		



安定的な収益性で売上高成長の追求を継続し、資源の積極的な活用により  
新たな領域にチャレンジすることで、  
2030年3月期に売上高 **1,500億円** を目指す



詳細はウェブサイト  
(2025年5月16日公表)  
をご参照ください。

<https://ir.mimaki.com/about/mi30.html>



チャレンジ1

高粘度領域

粘度の低いインクから  
粘度の高い塗料の分野へ

チャレンジ2

フレキシブル有機ELシート

インクジェット生産による  
低コストな有機EL



※この画像は生成AIによって  
作成されたイメージです



Made in JAPAN  
Made by Mimaki

チャレンジ3

セカンドブランド

印刷の前後装置を提供し  
顧客の"安心"を創出

チャレンジ4

3D事業の進化

様々な素材の3D印刷  
実現で大きく広がる市場



様々な素材

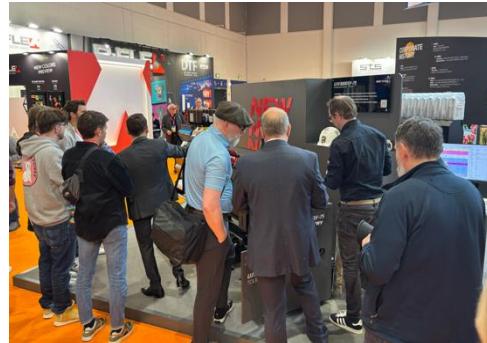
※MI30 : Mimaki Innovation 30

## 売上高推移 & トピック



## FESPA 2025

スクリーン印刷、デジタル印刷、テキスタイル印刷、サイン、ビジュアル・コミュニケーションに関するヨーロッパ最大級の展示会。今年はドイツのベルリンで開催されました。



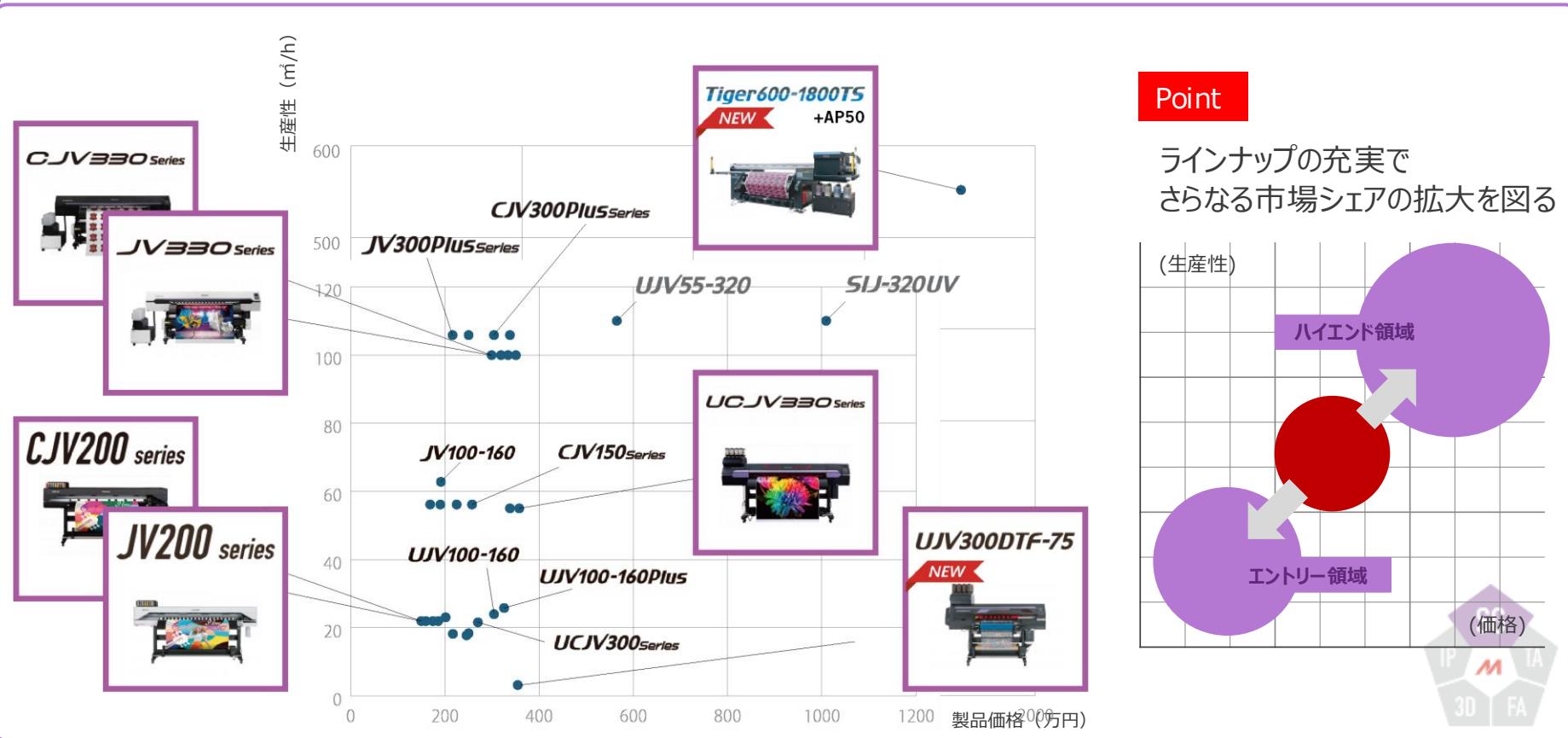
2025/05/06-09 @Berlin, Germany / 来場者数：約14,000人

## Printing United

米国のオーランドで開催される、北米最大級の印刷・アパレル装飾に関する総合展示会。最新の印刷技術、機器、アプリケーション、トレンドが紹介され、業界のプロフェッショナルが集まりました。



2025/10/22-24 @Orland, FL, US / 来場者数：約30,000人



## 売上高推移 &amp; トピック

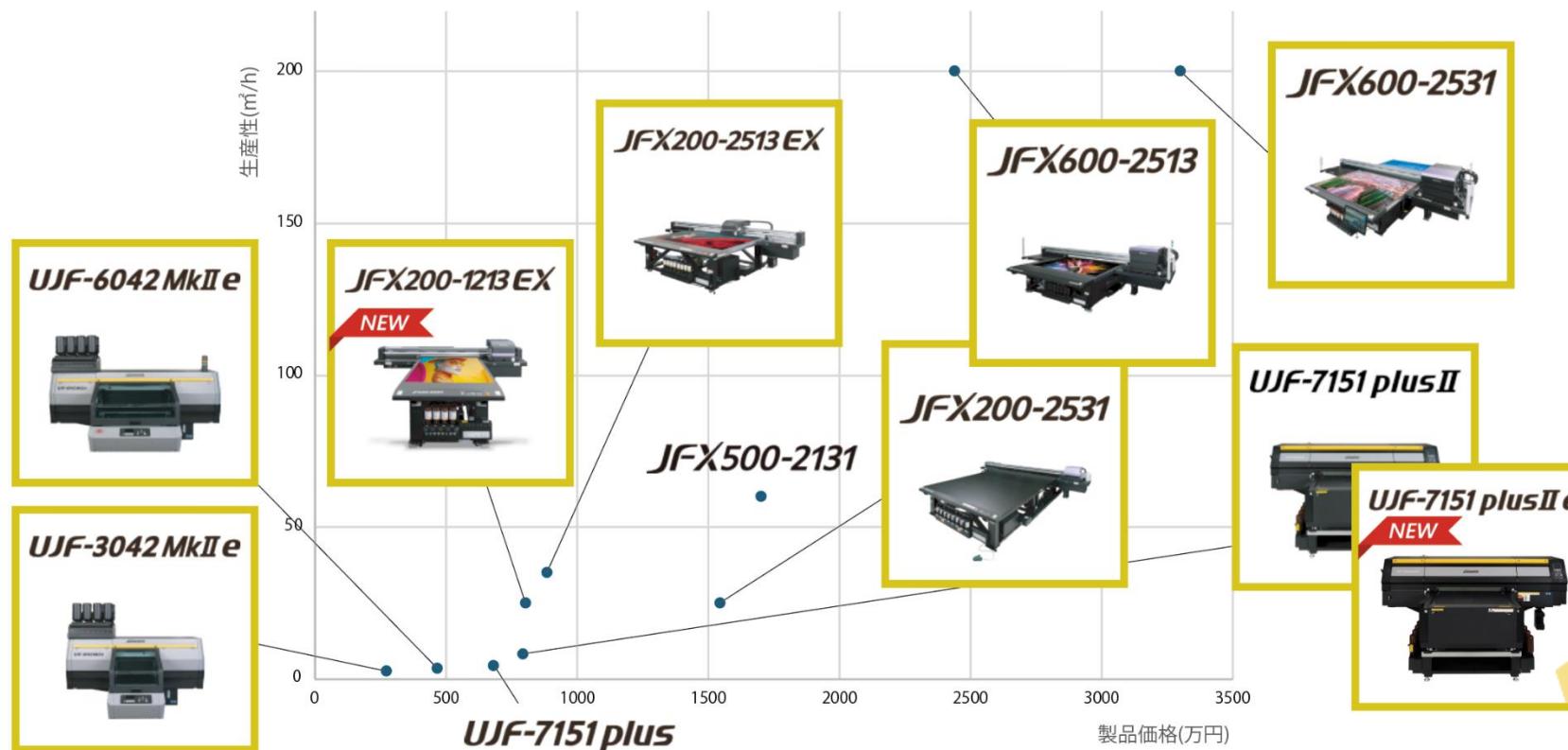
**JFX200-1213 EX**

JFX200-1213 (UVプリンタ)

ミドルサイズのフラットベッドUVインクジェットプリンタ  
高生産性で「美しさと速さ」を実現  
工業用・オーダーグッズのほか、サインボードなどの製作も可能



製品ラインナップ ※2025年12月現在



## 売上高推移 & トピック



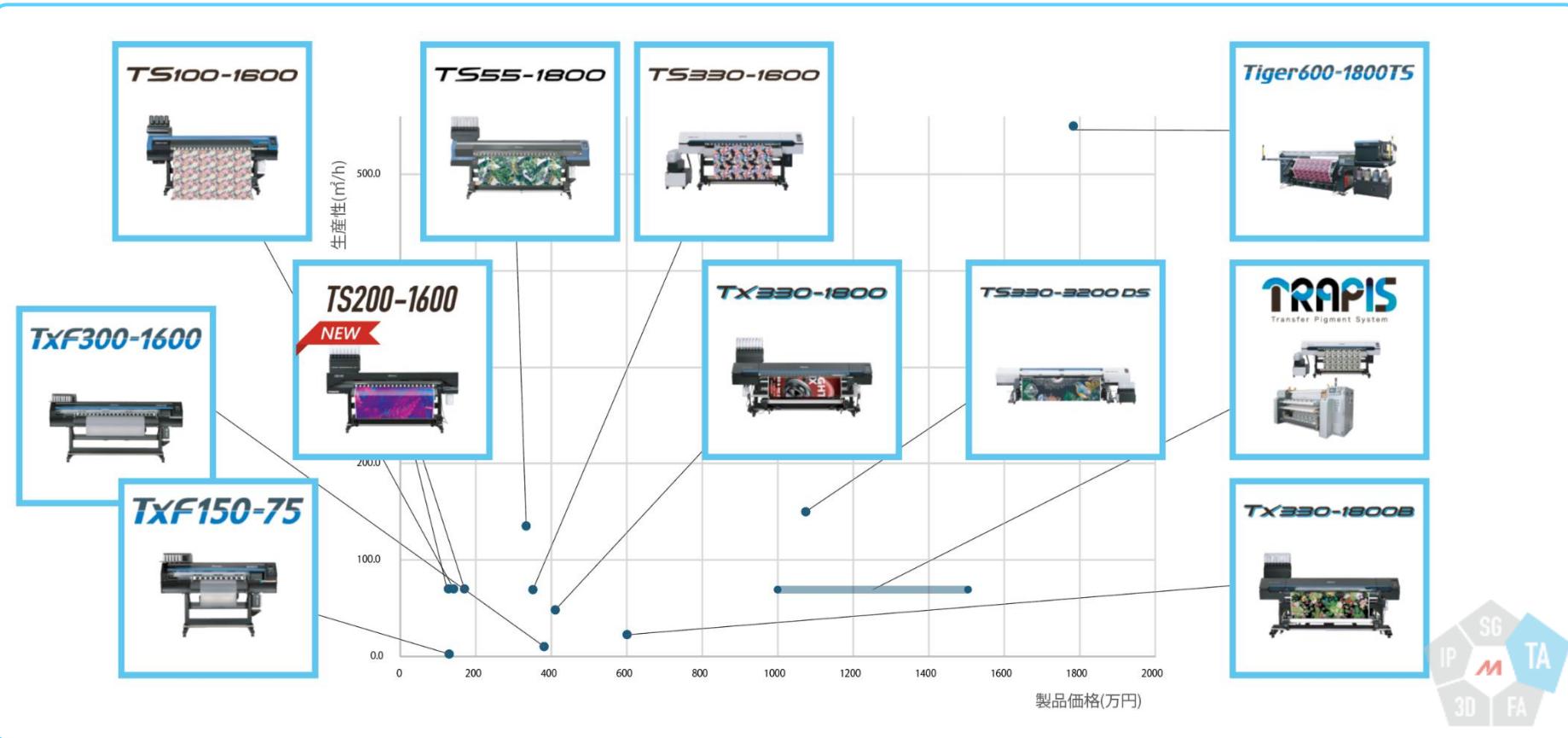
## 「ネオクロマトプロセス」製品を初公開

『サーキュラーエコノミー展2025』にて脱色技術「ネオクロマトプロセス」を用いた自動脱色機を初出展&実演



2025/09/09-11 @ 幕張メッセ, 日本 / 来場者数：約40,000人

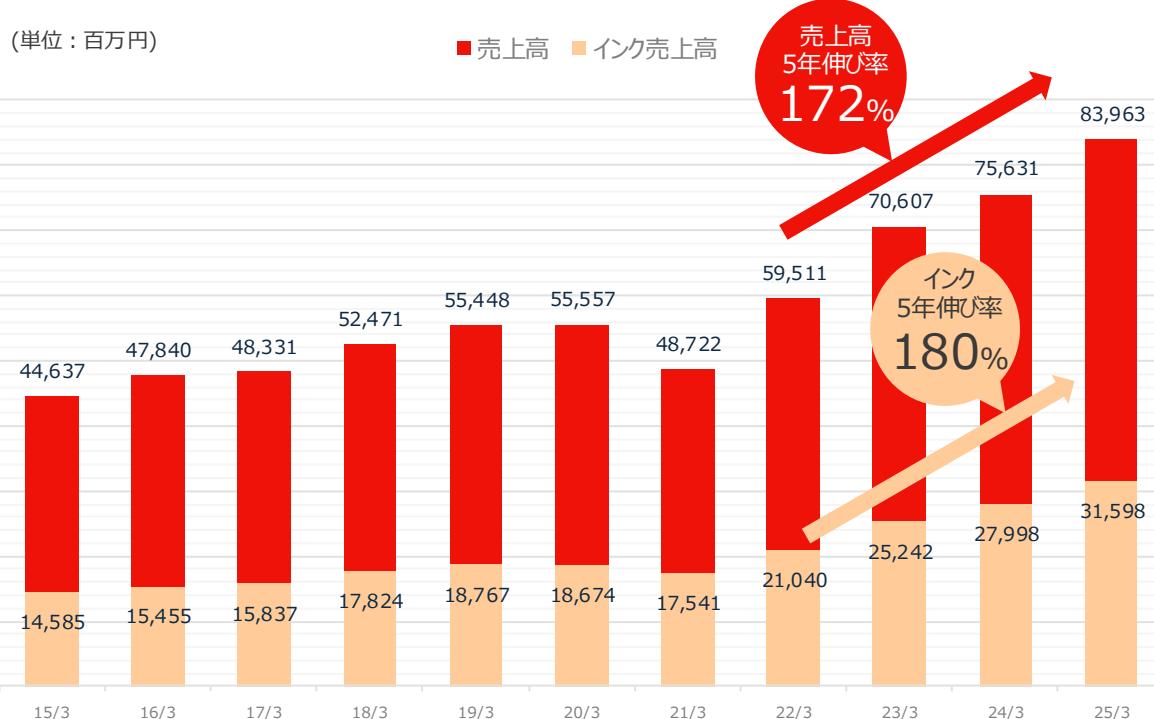




## 売上高とインク売上高の推移

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ インク売上高



売上高  
5年伸び率  
172%

インク  
5年伸び率  
180%



- ・ インクの5年伸び率は180%と急増
- ・ 稼働台数の増加に伴い、インクの売上高も増加
- ・ TAプリンタ販売数増加、特にTシャツ用途で使用される白インクが伸長



インク（ストック）ビジネスとしての側面と、インク生産量の増加によるボリュームディスカウント→利益の増加に期待

溶剤：PVCアタック：前処理不要  
ソルベントインク



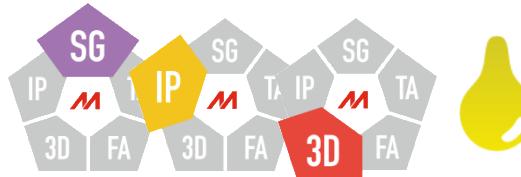
ソルベント（有機溶剤）がPVC※の表面を侵食し揮発、顔料が食い込むことで高い屋外耐光性/耐候性/耐擦過性を実現するインク

- ・環境配慮型のインクで認証取得

対象素材：PVC※など



## UV硬化インク



UV光（紫外線）を照射させることにより、硬化・定着するインク

- ・乾燥時間が不要！
- ・様々な素材へ印刷！

対象素材：樹脂、ガラス、金属など



高温でガス化、ポリエステルに着色  
水性昇華インク



ポリエステル素材へのプリントを飛躍的に美しくする高濃度インク

- ・紙転写 / ダイレクト印刷に対応
- ・蛍光色にも対応し発色が鮮やか

対象素材：ポリエステル



※PVC=ポリ塩化ビニール

持続可能な社会への貢献を、さらに効果的・効率的に推進すべくサステナビリティ方針とマテリアリティ※

当社グループのサステナビリティ方針

※重要課題

1. 産業印刷のデジタル・オンデマンド化を推進し、持続可能な社会の実現に貢献する
2. 安心して成長・挑戦できる職場環境を提供し、地域社会の維持・発展に尽力する

マテリアリティ	関連するSDGs番号
既存・新規事業を通じた産業印刷のデジタル化 インクジェット×デジタル・オンデマンド印刷で、 サステナブルにものづくり	      
イノベーションを通じたサステナビリティへの貢献 技術力で社会課題にソリューションを	      
グループ人財の活躍と地域社会の活性化 挑戦を貴び、安心して働く職場作り 地域とともに歩み続ける地元企業として	     
責任あるサプライチェーンの実現 環境リスク等の予防・低減、製品の安定供給へ	
企業成長に応じたガバナンスの徹底 テクノロジーや教育を活用し、経営管理体制・内部統制を強化	



本資料に関するお問合せ先

## 株式会社ミマキエンジニアリング

I R 部

<https://ir.mimaki.com/>



### 〔本資料お取扱い上の注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあるごとをご承知ください。